

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【公表番号】特表2015-507930(P2015-507930A)

【公表日】平成27年3月16日(2015.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-017

【出願番号】特願2014-557769(P2014-557769)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 12 Q 1/68 (2006.01)

C 12 Q 1/44 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 A

C 12 Q 1/68 A

C 12 Q 1/44

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年6月23日(2017.6.23)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

核酸の増幅方法であって、

a) 核酸鑄型を用意するステップと、

b) DNAポリメラーゼと、デオキシリボヌクレオシド三リン酸と、3'末端及び5'末端を有するプライマーとを含む反応溶液に核酸鑄型を接触させるステップであって、プライマーが、2-アミノ-デオキシアデノシン(2-アミノ-dA)及び2-チオ-デオキシチミジン(2-チオ-dT)を含んでいて、(+N)(+N)(atN)(atN)(atN)*Nの一般構造(式中、ヘキサマーの5'末端は(+N)、3'末端は*Nであり、「N」はデオキシアデノシン(dA)、デオキシチミジン(dC)、デオキシグアノシン(dG)又はデオキシチミジン(dT)を表し、「+」はヌクレオチド塩基に先行するロックド核酸(LNA)塩基を示し、(atN)は2-アミノ-dA、dC、dG及び2-チオ-dTのランダム混合物を表し、「*」はホスホロチオエート結合を表す。)を有するヘキサマーである、ステップと、

c) 核酸鑄型を増幅するステップと

を含む方法。

【請求項2】

核酸鑄型の増幅が等温条件下で行われる、請求項1記載の方法。

【請求項3】

核酸鑄型の増幅が高いストリンジェンシー条件下で行われる、請求項1記載の方法。

【請求項4】

DNAポリメラーゼがphi29DNAポリメラーゼである、請求項1記載の方法。

【請求項5】

核酸鑄型の増幅がローリングサークル増幅法(RCA)又は多重置換増幅法(MDA)からなる、請求項1記載の方法。

【請求項6】

当該方法により、痕跡量の核酸の増幅が可能である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

核酸を増幅するためのキットであって、

(a) D N A ポリメラーゼと、

(b) デオキシリボヌクレオシド三リン酸と、

(c) 3' 末端及び 5' 末端を有するプライマーであって、2 - アミノ - デオキシアデノシン (2 - アミノ - d A) 及び 2 - チオ - デオキシチミジン (2 - チオ - d T) を含んでいて、(+ N) (+ N) (a t N) (a t N) (a t N) * N の一般構造 (式中、ヘキサマーの 5' 末端は (+ N)、3' 末端は * N であり、「N」はデオキシアデノシン (d A)、デオキシシチジン (d C)、デオキシグアノシン (d G) 又はデオキシチミジン (d T) を表し、「+」はヌクレオチド塩基に先行するロックド核酸 (L N A) 塩基を示し、(a t N) は 2 - アミノ - d A、d C、d G 及び 2 - チオ - d T のランダム混合物を表し、「*」はホスホロチオエート結合を表す。) を有するヘキサマーであるプライマーとを含むキット。

【請求項 8】

D N A ポリメラーゼが p h i 2 9 D N A ポリメラーゼである、請求項 7 記載のキット。